| 学校番号 | ３０７ |
|---|---|

# 令和２年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 現代文Ｂ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「精選現代文Ｂ」（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | 「プレミアムカラー　国語便覧」（数研出版）、「音と形で覚える　漢字の演習　改訂版」（明治書院）、「新成現代文 大学入学共通テスト対策版」（尚文出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「現代文Ｂ」では、近代以降の様々な文章に親しんで「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・授業には、話し合いや文章記述、発表などの場もありますが、自ら学ぶ姿勢をもって参加してください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習しましょう。
・授業を受けていて疑問に感じたことは、早目に質問してください。
・課題・提出物は期限内に提出しましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

## ２　学習の到達目標

・近代以降のさまざまな文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めることができる。
・さまざまなジャンルの作品を読解し、言語文化に対する関心を深めることができる。
・文章を読んで、文章の内容や構成を把握し、筆者の意図や登場人物の心情を的確に理解することができる。
・目的や場にふさわしい語句を選び、思いや考えを適切に表現することができる。
・人間関係において互いの立場や考えを尊重し、相互理解を深め、適切に意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

## ３　学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | ａ：関心・意欲・態度 | ｂ：話す・聞く能力 | ｃ：書く能力 | ｄ：読む能力 | ｅ：知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 | 目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 | 相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 言語文化および言葉の特徴やきまり、などについて理解を深め、知識を身につけている。 |
| 主たる評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検<br>（ノート、ワークシートなど） | 行動の観察<br>（発表後のパフォーマンスの評価） | 記述の確認および分析<br>（ワークシート、原稿用紙） | 記述の確認および分析<br>（ワークシート）<br>定期考査 | 行動の観察<br>記述の確認<br>（ノート、ワークシートなど）<br>定期考査、小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 1学期 | 評論を読むⅠ | 教材：<br>「世界を作り替えるために」<br>（小林康夫）<br>「ミロのヴィーナス」<br>（清岡卓行）<br>「ロゴスと言葉」<br>（丸山圭三郎） | ○ | | | ◎ | ○ | a：主題として取り上げられている問題について考えを深めようとしている。<br>d：文章の内容に着目し、筆者の考えを理解している。<br>e：主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。 | a：行動の観察および記述の点検<br>d、e：<br>記述の確認<br>定期考査、小テスト |
| | 小説を読むⅠ | 教材：<br>「山月記」<br>（中島敦） | ○ | | | ◎ | ○ | a：文章の特色に注目し、内容を深く理解しようとしている。<br>d：登場人物の心情の推移を把握しながら文章を読み取っている。<br>e：漢語的な表現や語句の意味についての理解を深めている。 | a：行動の観察および記述の点検<br>d：記述の確認、定期考査<br>e：記述の確認<br>定期考査、小テスト |
| | 評論を読むⅡ | 教材：<br>「相手依存の自己規定」（鈴木孝夫） | ○ | | | ◎ | ○ | a：論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。<br>d：題材や文の組み立てに注意しながら筆者の考えを把握している。<br>e：語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深めている。 | a：行動の観察および記述の点検<br>d：記述の分析、定期考査<br>e：記述の確認<br>定期考査、小テスト |
| 2学期 | 詩を鑑賞する | 教材：<br>「見えない季節」<br>（牟礼慶子）<br>「永訣の朝」<br>（宮沢賢治） | ○ | | | ◎ | ○ | a：繰り返し音読することで詩の韻律になれようとしている。<br>d：一つ一つの表現に即して、その意味を明らかにしている。<br>e：詩の表現形式や修辞について理解している。 | a：行動の観察および記述の点検<br>d、e：<br>記述の確認<br>定期考査、小テスト |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 評論を読むⅡ | 教材：<br>「科学的「発見」とは」（小川眞里子） | ○ | | | ◎ | ○ | a：論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。<br>d：題材や文の組み立てに注意しながら筆者の考えを把握している。<br>e：語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深めている。 | a：行動の観察および記述の点検<br>d：記述の分析、定期考査<br><br>e：記述の確認<br>定期考査、小テスト |
| | 小説を読むⅡ | 教材<br>「こころ」<br>（夏目漱石） | ○ | | ○ | ◎ | ○ | a：表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら、小説を読もうとしている。<br>c：物語の展開を理解し、人物の心情を整理して、自らの感想を表現している。<br>d：情景や会話の描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。<br>e：近代の文章や文学の変遷を理解し、作者の思想や作品について理解を深めている。 | a：行動の観察および記述の点検<br>c：記述の確認および分析<br>d：記述の確認および分析<br>定期考査<br><br>e：記述の確認<br>定期考査、小テスト |
| 3学期 | 俳句を創作して相互批評する | 教材：<br>「俳句を作ろう」<br>ワークシート | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | a：身につけた知識をふまえて俳句を作っている。<br>b：自分の俳句について理由を示して論理的に話すとともに、他者の批評を踏まえて自らの考えを相対化している。<br>c：身につけた知識をふまえて俳句を創作している。<br>d：他者の作品を読み、味わっている。<br>e：俳句の知識を理解するとともに、話すこと・聞くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解する。 | a、b、e：<br>行動の観察と確認<br><br>c、d：<br>行動の観察および記述の確認 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 評論を読むⅢ | 教材<br>「おじいさんのランプ」<br>（宇野常寛） | ○ | | | ◎ | ○ | a：論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。<br>d：題材や文の組み立てに注意しながら筆者の考えを把握している。<br>e：語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深めている。 | a：行動の観察および記述の点検<br>d：記述の分析、定期考査<br><br>e：記述の確認<br>定期考査、小テスト |

＊表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：話す・聞く能力　c：書く能力
d：読む能力　e：知識・理解

＊評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、全ての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎印を付している。